※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　理数科

教科	理数	科目	理数生物（文系）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　生物基礎（東京書籍）						
副教材等	ニューステージ生物図表（浜島書店），五訂版リードα生物基礎（数研出版） チェック＆演習生物（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでに２年間をかけて生物基礎を通して生物を学んできた。３年次では、これまでに得た基本的な知識・技能や生物基礎の見方・考え方をはたらかせることで、自分の力で適切な問いを立て、その課題に対する解決の道筋を立てられることを目標にしてほしい。さらに、その内容を周囲の人に発信し、科学的なコミュニケーションをおこなうということを心掛けたい。

２　学習の到達目標

・生物基礎に関して学んだ基本的な知識・技能を活用して、実験結果を適切に読み取ることができる。また、結果から合理的に推論し、定量的に判断できる。
・思考力や判断力を要する問題に関して、その背景や出題の意図について考察できる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生物の共通性や多様性に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 科学的な見方、考え方を身につけている。	生物の共通性や多様性に関して、疑問を見出し、探求する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物の共通性や多様性に関わる観察、実習を行うことで基本操作を習得する。それらの過程や結果を的確に記録、整理することができる。	生物の共通性や多様性について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ペアワーク 小テスト	学習状況の観察 ペアワーク 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ペアワーク 小テスト 定期考査	学習状況の観察 ペアワーク 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	生物の特徴・遺伝子とそのはたらき	生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー 生物と遺伝子 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成	○		○	○	a. 生物学に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。科学的な見方、考え方を身につけている。 b. 生物に関して、疑問を見出し、探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c. 生物の観察、実習を行の過程や結果を的確に記録、整理することができる。 d. 生物について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。	学習状況の観察 ペアワーク 小テスト 定期考査
	生物の体内環境の維持	体内環境 体内環境を維持する仕組み 免疫	○	○		○		
	生物の多様性と生態系態系	植生の多様性と遷移 バイオームとその分布 生態系とその保全	○	○		○		
後期	総合演習	実験系の理解 実験データの読み取り 合理的推論 問題読解	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。